

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	地域貢献活動		
申請大学・高校等名	大学及び高校等名	兵庫県立尼崎西高等学校	
	活動グループ名	地域貢献グループ	参加学生等人数 30人
指導責任者名及び連絡先	学部・学科等名称	兵庫県立尼崎西高等学校	
	責任者氏名	只石 忠司	連絡先電話番号
	E-mail		
協働する市民活動団体及び代表者名	団体名	大庄元気むら	
	代表者氏名	増本 雅幸	連絡先電話番号
	E-mail		
教育・研究活動目標	高齢者を多く抱える大庄地区において、地域住民が支え合える環境作りは喫緊の課題である。地域の集い場「大庄元気むら」を拠点として活動し、異世代交流を通して地域の活性化を目指す。		
活動内容及び実績、評価	・任意様式の添付でも可とします。 ・作成には次の内容を踏まえてください。 (活動内容及び実績) ・できるだけ活動内容のわかる写真等を掲載してください。 (評価) ①学生等 ②市民活動団体の活動者 ③指導教員の視点を踏まえて、次の項目について評価・分析したものを掲載してください。 ・想定していた活動成果に対する達成度合い(達成できたこと、できなかったこと等) ・学生等が関わった地域、団体の活動の変化等 ・学生等の学習意欲、地域に対する考え方の変化等		

大庄元気むら ボランティア

兵庫県立尼崎西高等学校活動報告

主な活動内容

- 5月7日(土) 苗植え(尼いも 畑作業)
- 10月30日(土) ハロウィーンイベント
- 12月18日(日) 大庄元気むら文化祭

参加生徒感想

【苗植え】

- ・暑かったが、地域の皆さんと交流できて楽しかった。
- ・土が硬くて大変だった。
- ・たくさん汗をかき、休憩中に色々な話をし、青春を感じた。



【ハロウィーン・イベント】

- ・子どもたちと交流ができ、新鮮な気持ちになれた
- ・参加者の皆さんがとても優しく、いい思い出になった
- ・生徒会のみんなとも交流ができ、いい経験になった
- ・小さい子も楽しんでいて良かった
- ・舞台発表の周りの雰囲気が良かった
- ・みんなでの仮装が楽しく、子どもたちの仮装もかわいかった
- ・ゲームなど、たくさんの人と触れ合うことができた
- ・他国の言葉を知り、話ができ良かった
- ・様々な出し物があり、屋台も美味しく、自分たちも楽しむことができた
- ・たくさん地域の方と交流ができ、楽しかった



【元気むら文化祭】

- ・元気むらの文化祭に打ち合わせから参加できて良かったです。打ち合わせから参加する機会なんてめったにないし、本番当日もすごく盛り上がっていて頑張ってたよかったですと思いました。
- ・準備のときから本番がどうなるかと不安でしたが成功で終わることができて良かったと思います。地域の方と交流する機会が少ない中、こうして交流できたことに感謝し、また次の機会があればまたしたいと思いました。
- ・生徒会での司会進行に不安があったが、みんなで協力でき、運営できて良かった。
- ・最後の総踊りは、まわりを巻き込み、見ていてとても楽しかった。
- ・周りを見ながら、もっと積極的にサポート出来たら良かった。
- ・地域の方々ともっと交流をとりたかった。
- ・司会進行以外の手伝いもできたら良かった。
- ・ステージ発表の感想などを交えると良かったと思う。
- ・司会進行の際、緊張して上手くアナウンスすることが出来なかった。
- ・スケジュールを把握し、落ち着いて運営できたら良かった。



【 活動の成果 】

今年で3回目ということもあり、参加部活によっては恒例の活動になってきています。今後もこの活動を続けていき、より地域に開かれた学校となることを期待されていることを感じます。

今年度はコロナの影響もあった中ではありますが、多くの生徒と6つの部活動が参加しました。生徒の意識も変わってきており、昨年度よりも自ら進んで参加した生徒も増えてきました。参加後の感想も、「参加してよかった」、「今後も参加したい」といったものが多数を占めました。

大庄元気むらの方より

尼崎西高校生にも、大庄元気むらで行っているいろいろな活動をもっともっと知ってもらいたい。そして、もっと身近に感じてもらい、気軽に交流していきたい。

合同文化祭については、負担も大きいので形を工夫しながら、それぞれが無理なく交流の場としてより良い活動を検討していきたい。

地域での小中高の交流の場としても考えていけたらと思う。尼崎西高校のもっと多くの先生に協力してもらえるようになったらうれしい。もっと尼崎西高校の生徒が使える場所に今後はしていきたい。

指導教員より

大庄元気むらでのボランティアに参加して、最初は消極的で言われた作業だけを行っていた生徒が文化祭の頃になると以前よりは自分で考えて行動するようになり、様々なことに積極的に参加するようになりました。様々なボランティアを通して地域への愛着も深めることができたと感じました。

来年度に向けて（評価・分析）

本校生徒会と大庄元気むらの人との今年度の反省会の中で出た課題は、もっと尼崎西高校の生徒が大庄元気むらに気軽に立ち寄ることができるようにするにはどうしたらいいか、ボランティアに参加する生徒を増やすにはどうしたらいいかでした。案内の仕方や、内容を考える等様々な意見が出ました。昨年度と同じ課題ではありますが、来年度に向けて改善していき、今後もこの活動を続けていきます。